

会議録

会議の名称	平成25年度 第5回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	平成26年3月13日（木曜日） 午後1時から1時45分まで
開催場所	コール田無イベントルームB
出席者	委員：赤澤委員長、有賀副委員長、石原委員、岸上委員、近辻委員、中平委員、西田委員、山本委員 事務局：南里文化振興課長、林文化振興係長、工藤文化振興係主査
議題	1 計画前期の取組実施報告について 2 平成26年度推進委員会検討事項及び文化芸術振興事業スケジュールについて 3 その他
会議資料の名称	1 計画前期の取組実施報告について 2 平成26年度推進委員会検討事項及び文化芸術振興事業スケジュール（参考資料） 「ライブエンタテインメントワークショップ発表会」チラシ&入場整理券
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>(開会)</p> <p>○委員長： 定足数と出席している委員を確認</p> <p>(配付資料について)</p> <p>○事務局： 参考資料として、「ライブエンタテインメントワークショップ発表会」チラシ&入場整理券を配付させていただいた。西東京市他主催の事業で、3月23日（日曜日）に開催するので、是非足を運んでいただきたい。</p> <p>議題1 計画前期の取組実施報告について</p> <p>○事務局： 資料1に基づき説明</p> <p>(「対話による美術鑑賞」事業について)</p> <p>○事務局： ボランティア養成研修を11回まで実施。出席人数は9人から12人で、出席率は70%程度である。2月に1人辞退者があったため、現在受講生の総数は16人である。</p>	

○委員：
研修はどこで行っているのか。

○事務局：
基本的にはコール田無イベントルームで行っている。
研修時間は、午前9時45分から午後0時30分頃までだが、同じ場所で引き続き午後3時から4時頃まで自主練習を実施している。

(教育機関等との連携について)

○事務局：
平成26年度は、モデル校8校で実施し、美術館訪問も1校で実施予定である。

○委員：
時期はいつ頃から始めるのか。

○事務局：
6月頃から月1回程度実施する予定である。

○委員：
小学校にはボランティア16人が全員行くことになるのか。

○事務局：
無償のボランティアということもあるので、小学校の指定日に16人全員が集まることは困難だと思っている。アートカードゲームを行う場合、5人から6人の子供たちに1人から2人のボランティアが付くので、30人のクラスであれば、最低6人のボランティアが必要となるが、できれば12人は確保したいと思っている。

○委員：
VTS、ARDAは何の略か。

○事務局：
VTSは、ヴィジュアルシンキングストラテジーの略であり、画像を活用した「対話による美術鑑賞」のことをいう。ARDAは、認定NPO法人芸術資源開発機構の通称で、「アルダ」と読む。

(多摩六都フェア「ライブエンタテインメントワークショップ」)

○委員：
発表会の内容でマイクパフォーマンスとあるがどのようなことをやるのか。

○事務局：
マイクパフォーマンスといっても、歌と歌、歌とダンスの間のMC程度である。

(多摩六都フェア圏域美術家展「多摩北部5市美術家展」)

○事務局：

今年度は、西東京市で開催する予定であり、時期は、平成26年11月下旬から12月上旬までの間を予定しており、具体的な日程については、西東京市で6月頃開催する実行委員会で決定する予定である。場所は、南町スポーツ文化交流センター「きらっと」で実施する予定である。

議題2 平成26年度推進委員会検討事項及び文化芸術振興事業スケジュールについて

○事務局：

資料2に基づき説明

(検討事項について)

○事務局：

来年度の推進委員会は、今年度と同様に8月に第1回を開催し、全6回を予定している。

委員の皆さんの任期は今年の7月31日までであるが、要綱で3回まで再任が可能となっているので、来年度に入ったら再任の意向について伺う予定である。

8月まで会議の開催予定はないが、市から情報を提供したり、施策 事業評価について意見を伺ったりする予定である。

(文化芸術振興事業スケジュールについて)

○事務局：

文化芸術振興事業スケジュールの中にある、多摩六都フェア（文化芸術事業）については、今年度は「ライブエンタテインメントワークショップ」を行っているが、来年度は映画製作のワークショップを予定している。西東京市では、市民映画祭が定着してきていることもあるので、この事業についても委員の皆さんで盛り上げていただきたいと考えている。

議題3 その他

○事務局：

文化振興課長よりあいさつ。

今年度は、施策 事業評価を中心に議論をいただいた。事務局としても初めてということもあり、試行錯誤を繰り返しながら進めさせていただいた。次年度も引き続き施策事業評価を中心をお願いしたい。

○委員長：

今年度は、アートの分野である「対話による美術鑑賞」事業もスタートしたこともあり、文化芸術振興計画が順調に推進された。次年度は推進委員及び事務局の体制も代わることがあるかもしれないが、引き続きよろしくをお願いしたい。

(閉会)